

## 新しい道を切り拓いた いわての女性たち ⑩

### フィールドワークで地道に研究した栄養学のパイオニア

たかの はし  
**鷹 背 テル**

岩手大学名誉教授、医学博士。栄養学の視点から長寿と食の関係や、郷土料理の健康面における合理性を調査。大学側からの理解が得られなくとも地道に研究を続け、ついに人間栄養学の分野を確立する。

1921年（大正10）岩手県奥州市（旧江刺市田原）に4人兄妹の長女として生まれる。故郷は貧しい無医村だったため、村民は医者にかかれず、病院に行く時は病状が悪化した死の直前だった。この現状を目の当たりにした少女時代のテルは医療の道を志すが、経済的な事情もあり両親と同じ教師の道を選ぶことになる。

高等女学校を卒業後、小学校の教員から岩手女子師範学校の教員を経たテルは、1949年岩手大学学芸部（現：教育学部）の食物学助教授となった。当時女性の岩手大学助教授への抜擢は異例ともいえるものであった。

この間、長寿研究で有名な近藤正二博士の「医療にも経済にも恵まれない農民の健康は、普通の食生活により守ることができる」という講義内容に感銘を受け、食から得る栄養の必要性を認識することとなった。

その当時の栄養学は農学部の中なかにあり、家畜を肥えさせるための分野だった。テルは人の栄養を研究したいと、農産漁村を行き来し村民の食生活をヒアリングするなどの疫学調査を開始する。血圧の高い人たちが多い村の内情を細かく調べ解決策を研究し、その結果、素材の組み合わせ次第で高血圧を回避できることを突き止め、村民の食生活改善につなげた。

同じ塩分過多でも、貧しさゆえのものを「経済の味」、発汗で奪われた塩分を摂取するためのものを「労働の味」、食物を長持ちさせるための「保存の味」など、対象者とその環境を的確にとらえ改善に結びつけるのがテルの研究法であった。

ハードなフィールドワークにより体調を壊し、一時病床に伏したテルだったが、食事療法により回復し調査に復帰する。大学退官後も精力的に郷土食と栄養について研究を続ける。

2000年に79歳で逝去。

【参考文献】「健康長寿の食生活～足で求めた人間栄養学35年～」食へもの通信社 1996年  
「盛岡学 創刊号」盛岡学編集室 2005年

## ● 女性相談（本館）

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~ 20:00		
木	10:00 ~ 20:00		
金	10:00 ~ 17:00		

（第2火曜日、年末年始、祝日は休み）



## もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

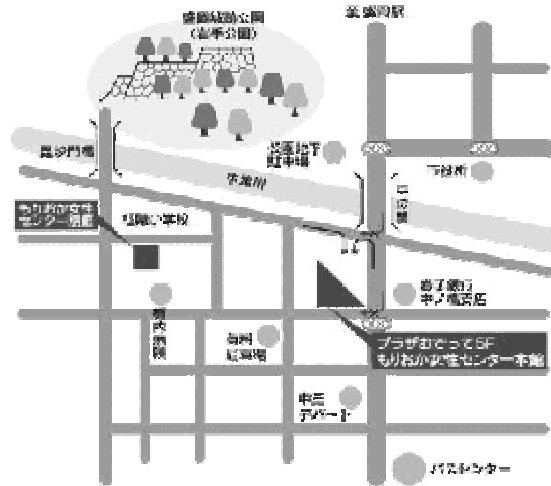
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

### ■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10プラザおでって5階  
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750  
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30（土日祝17:00まで）  
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

### ■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町2-8  
電話番号 (019) 624-3583 (FAX兼)  
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00  
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）  
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車  
本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分  
※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。  
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

### あとがき

◆2012年、公私ともに新たな気持ちで新年を迎えました。昨年、多くの方々の思いのパワーを強く感じた年でした。人の力って、想いって本当にすごいです。日本中、世界中の人が思いを被災地に届けてくれました。本年は辰年。その思いをさらにドラゴンパワーで集めて、一日も早い被災地の方々の復興を願っています。（Y）

◆昨年は、大震災という大変な出来事がありました。まだまだ被災地の現状を考えると心が痛みます。みんなが小さくても明るい目標を持って一歩一歩前に進んでいけたらと思っています。さて、私の今年の目標は…？（N）

ひと ひと  
一 女と男、ともに参画する社会をめざして一

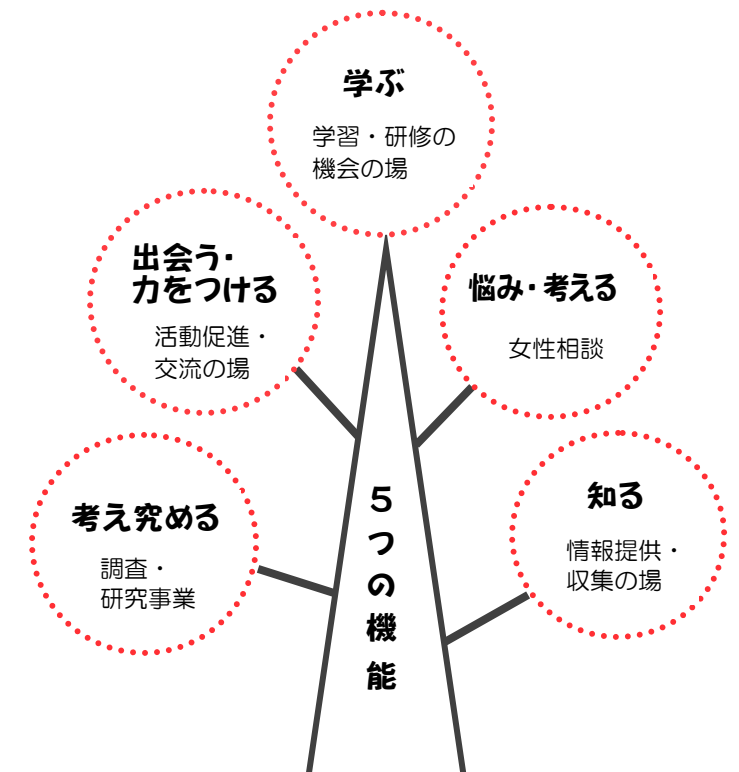
# もりおか女性センター

2012年  
1月  
No. **34**

## ニュースレター

内容

- ◎ 新年のごあいさつ
- ◎ 事業案内「私たちの復興会議」
- ◎ 事業終了報告
- ◎ 講座情報
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち⑩「鷹背テル」



平成23年度事業テーマ  
『女性センターでふみ出す私の一歩  
～つながる、ひろがる、変える！～』

発行：もりおか女性センター

## ●●● 新年のご挨拶 ●●●

中津川には、今年も白鳥が飛来しました。純白の親鳥とグレーの幼鳥が揃って柔らかな陽を受け憩っています。

昨年中は、皆さまから多くのご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。本年も変わらぬご厚誼をよろしくお願い申し上げます。

私たちは 3.11 のあの日、自然の猛威に打ちのめされました。東日本大震災は、あまりにも大きな犠牲と幾多の困難を残しました。しかし、そこにとどまることなく英知を結集し、懸命に立ち向かおうとされている被災された多くの方々のお姿に、私たちは勇気と力を頂戴しました。私たちにできることを粛々と実行すること、そして継続していくことだと意を新たにしているところです。私たちは、岩手の先人がそうしたように、この震災で被災された方々のことをいつまでも忘れることなく、また、震災から学んだ教訓を語りついでいこうと考えています。

国内外の皆さまからさまざまな形でご支援を頂戴しました。また、多くの方々から、温かいお心を寄せていただきました。本当に感謝申し上げます。

もりおか女性センターでは、今年度も震災を含め男女共同参画にかかわる事業を実施してまいります。広く市民の皆さまと共に、女性を取り巻く多くの課題を掘り起こし、その問題解決に取り組むために職員一同、研鑽を積み努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

センター長 田端 八重子

## ● 事業案内

### 「私たちの復興会議 ～つながる、ひろがる、変える!～」

参加  
無料

日時：1月15日(日) 13:30～16:30(開場 13:00)  
会場：プラザおでって3階 おでってホール

#### ■第1部

基調講演「男女共同参画の視点で  
考える地域防災とは」

講師：奥山恵美子さん(仙台市長)



奥山恵美子さん

秋田県出身。高校の2年間を盛岡で過ごす。  
東北大学卒業後、仙台市職員となり、2009年  
政令指定都市初の女性市長となる。

#### ■第2部

シンポジウム「3.11からのスタート  
～つながる、ひろがる、変える～」

コーディネーター：平賀圭子(NPO法人参画プランニング・いわて理事長)

シンポジスト：石井布紀子さん(NPO法人さくらネット代表理事)  
八重樫綾子さん(NPO法人いわてGINGA-NET代表)  
山下 梓さん(東日本大震災女性支援ネットワーク世話人)

- ・参加申込：1月4日(水) 10:00から電話またはFAXで受付  
(電話019-604-3303/FAX050-2013-4750)
- ・託児あり：要予約。未就学児、定員3人(1人につき500円の負担)  
託児受付1月11日まで

## ● 事業終了報告

街頭啓発  
キャンペーン  
展開!

### 「なくそう! 女性に対する暴力 2011」

～終了報告～

もりおか女性センターでは、11/11～17「なくそう! 女性に対する暴力 2011」の期間中、昨年度に引続きパープルリボンプロジェクト街頭啓発キャンペーンを 11/13 イオン盛岡南ショッピングセンター、11/15 肴町アーケードの2ヶ所で開催しました。

今年度は、約1,300人の方々にご参加いただきました。  
参加ご協力ありがとうございました。

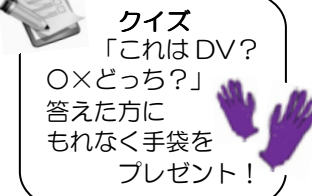
イオン盛岡南  
ショッピングセンター



平賀理事長のギャラリートーク  
イオン盛岡南



〈肴町アーケード〉



クイズ  
「これはDV?  
〇×どっち?」  
答えた方に  
もれなく手袋を  
プレゼント!



↑  
(Tシャツにリボンとメッセージをつけていただきました)

### 「起業応援フォーラム 2011 女性パワーで地域を変える!」

～終了報告～

12月11日に、プラザおでって及び女性センター本館で「起業応援フォーラム2011」を開催しました。第1部では、WWB/ジャパン(女性のための世界銀行日本支部)代表の奥谷京子さんをお迎えし、女性が起業し、ビジネスを続けるための心構えや、編み物で被災地を応援し、雇用を創出する「ソーシャルネットワークプロジェクト」の取り組みについてご講演を頂きました。第2部では、起業講座修了生の起業活動PR・交流タイムとして参加者と女性起業家の交流の場を設けました。起業をめざす参加者の皆さんにとっては大きな刺激になったようです。地域の女性パワーが結集して、最初の一歩につながることを期待しています!



## ● 講座情報

女子学生みんな  
集まれ!

### 「～女子学生のための～ シューカツ準備応援塾!」

— 全2回 —

【第1回】2/15(水) 「なりたい自分を創造しよう!」  
講義&ワーク/座談会

【第2回】2/17(金) 「社会人になる準備をしよう!」  
講義/自己PR体験

時間：10:00～15:30

会場：もりおか女性センター本館(プラザおでって5階)

対象/定員：これから就職活動をしようとしている女子学生

(大学1・2年生、短期大学1年生等) / 12人

受講料：無料

申込み：女性センターHPから受講申込書をダウンロード、またはチラシの裏面の「受講申込書」に必要事項を記入し、Eメール、郵送、FAXにて送付。

締切：2/6(月)まで(必着) ※定員を超えた場合は抽選となります。  
もりおか女性センターURL⇒<http://mjc.sankaku-npo.jp>

### 「みんなのおしゃべりルーム」

離婚について悩む女性同士が、お互いの体験や考えを聞きながら、自らの問題を整理し、解決のためのヒントを探すためのルームです。話すことが苦手な方でも心配いりません。安心してご参加ください。

日時：2/28(火) 10:30～12:30

会場：もりおか女性センター本館

対象/定員：20代～40代の女性 / 5人

参加費：無料

託児：生後6カ月～未就学児

1人につき500円の自己負担(要事前予約)

申込み：2/21(火)10時から電話(604-3304)にて  
先着順に受付。



### もりおか女性センターフェスティバル 2011 実行委員反省会終了!

12月16日、もりおか女性センターフェスティバルのアンケートを基に実行委員の方々と次年度に向けての反省会ならびに意見交換会を開催しました。

皆さまからいただきましたご意見を参考に、次年度も一緒に創り上げるフェスティバルにしたいと思います。

師走のお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。来年に向かって、またスタートです!

